

# みやけの風

## 第 49 号

平成13年(2001年)10月6日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階  
 東京ボランティア・市民活動センター気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「ふれあい集会も大勢で賑やかだったな」「みんなで島節も歌ってよ。あん時は涙が出たぞ」「島原の仲間も元気づけに来てくれたしな」「神着の衆も、あのあと島に行けてよかったじよ」「何にしろ、これから大変でも、みんなで集まってあれこれ話し合うことが大事だってことだじよ」「だから」

### みんなの声

(1)

\_\_\_\_\_!  
 \_\_\_\_\_!

9月30日心待ちにしていた第3回三宅島島民ふれあい集会が開かれました。87才になる父は「懐かしい三宅島の仲間に、又会える!!」という思いに支えられ、この日に備えてきました。足も弱くなり、体力も長時間は持たない状態が心配だったので、社会福祉協議会に“ハンディキャブ”をお願いすることにしました。第2回の時と同様、今回もボランティアの方が、車椅子ごと移送できる車を施設の玄関に横付けしてください、何の心配もなく会場の芝浦小学校に到着することができました。東京ハンディキャブ連絡会の皆様、本当にありがとうございました。

おかげ様で、父は会場に入ると、次から次へ顔なじみの人達に声をかけられ、会いたかった人の手を握りしめ、涙をうかべて喜んでいました。島のなつかしい太鼓を聞きながら、又、大好物のクサヤ、島おじや、豚汁、お汁粉等々をごちそうになり、至福の時を過ごすことができました。

### ふれあい集会でのおとしもの お心当たりの方はお知らせください!!

お忘れ物：黒のコールテンの帽子、共布のボタン付  
 (たぶん婦人もの)

時と場所：9月30日、ふれあい集会で午後のプログラムの会場となった体育館入り口付近

お問合せ：三宅島支援センターまで

TEL:03-3260-7573

心にしみる島民ふれあい集会を企画し、支援して下さった全ての人々に深く感謝し、三宅島に皆いっしょに帰島できる日が近いことを祈願しつつ、これから又がんばりましょう!! (港南一丁目 宮下 淑子)

(2)

「帰りたい!!かえりたい、かえれない…。あいたい、お会いしたい、ただ顔を合わせるだけで心が和み、安心出来るあなたに…。」昨年9月3日に命とひきかえに避難して、寂しさ、空しさが交差するなか、望郷の思いを込め三本嶽の夕景に添えた文頭の言葉。あの日から心の時は刻むことなく季節だけが変わり、二度目の紅葉を迎えても、その美、彩りを愛でる心を持ち得ず、望郷の思いと同時に、より強く心の中に生き続けている言葉。未練なんだよねー、田舎者の私は。

いかがお過ごしですか、お元気ですか。夢でしか会えなかった懐かしの故郷、いかがでしたか。短時間の一時帰島とはいえ、あの森、あの海、岸の磯は以前と変わらぬ姿で存在し、心地よい汐風は全身を包み、心身を癒し和ませてくれました。不安が入り交じる我が家。玄関を開けた途端、無意識にタダイマー!!と声ので、長年培った我が家独特のにおいが全身を包み鼻をつく。いいなー、我が家は。暗闇の中、椅子に腰を掛け、この一年の空白、宿命を思うとき、目頭が熱くなり肩の力が抜け、何もする気になれず、勝手に火山学者となり、現況を判断し避難解除の近いことを確信し、復旧と復興が島民を交えた同時進行で進める時

期を行政が判断する時に来ていると直感。早く帰りたいね！！元気で帰りましょうネ。島は私たちの帰りを待っています。

ふれあい集会、いろいろとありがとうございました。凡庸な生活の中、島民が集い、会話し、おかげ様で心が和み癒してくれました。（八王子市蓮正寺 沖倉 沖山 仙明）

(3) \_\_\_\_\_

島民大会のお陰で、また三宅島の人や大勢のボランティアさんたちに会えました。鳥取県から運ばれた温泉と20世紀梨にも大変心打たれました。

この度の島民大会では、避難生活のなかでの作品が展示され、その見事な作品に驚かされました。作品を作った人は勿論ですが、観る人もどんなに励みになったことが、また楽しみが増えました。

島節も初めての試みでしたが、歌いはじめると、次々と人が集まってきて、何時終わるかわからない、そんな魅力があるんですよね。久しぶりにみんなで踊った“あしたば音頭”と“あじさい音頭”、楽しかった！です。

午後からの対話集会では三宅島の復興の様子など聞くことができましたし、「考えよう！三宅島の今とこれから」と題しての話も聞いて大変良かったです。「自分のことは出来るだけ自分です、どうしても出来ないことは皆で助け合う」そんなことではないかなーと思いながら聞いていました。

「楽しかったね、嬉しかったね、もっと話したいね、また会いたいね」と名残を惜しみながら帰ってきました。避難生活が長期化していくなかで、世界のあちこちで、

日本のあちこちで災害が起きています。そんな時他人事とは思えなく心配しています。

どうか元気でいてほしい、早く復旧復興してほしいなど、いろいろな思いが募ります。そして、私たちも一日も早く三宅島へ帰れる日が来ることを願っています。

ありがとうございました、支援センターのみなさん。ありがとうございました、いつも私たちを支えてくださるボランティアの皆さん。（八王子市上柚木 鈴木 博）

**三宅島支援東京センターより**

ふれあい集会では、皆様楽しんでいただけたでしょうか。テント・ブースを担当された方、集会の運営を支えてくださった方、お疲れ様でした。午後のフォーラムでも、活発な発言が相次いで、これからの島をどうするか、これからの避難生活をどうしてゆくか、考えていらっしゃる島民の皆様の意気込みが伝わってくる内容だったと存じます。

さて、次回の島民連絡会会議は、会場の都合がつかず、第3日曜日の10月21日へ変更になりました。これまで参加して下さっている方、まだ参加したことのない方、どなたでもどうぞお誘い合わせの上、たくさんのご参加をお待ちしております。

日時:10月21日(日)13:30~15:30  
 場所:飯田橋シニアワーク5階会議室  
 (JR飯田橋東口徒歩7分、三宅島  
 シルバー人材センターのあるビル)  
 問合せ:三宅島支援東京センター  
 TEL:03-3260-7573

**特別養護老人ホーム「あじさいの里」のいきいき健康教室**

10月 テーマ:『さわやかに老いる』

日程	場所	担当
10月 9日(日)	江東区深川南部保健相談所	肥後・福本
10月11日(木)	竹ノ塚保健総合センター	宮下・肥後
10月12日(金)	稲城市向陽台団地集会所	肥後・福本
10月14日(日)	港区港南三丁目アパート集会所	宮下・福本

お問合せ先:あじさいの里  
 TEL:03-3459-8388  
 時間:14:00~15:30

日時や場所は、事前に電話でご確認の上お出かけください